

トピック3 < 日本の四季と年中行事 >

● 今日の目標

日本の行事の話を通じて、日本について理解するとともに、母国と日本の四季にある行事を話し合い、お互いの国について理解すること。

グループB：ラーメン
特に「積極性」の高いグループ

● 活動の進め方

まず、ワークシートに沿って、日本の四季と季節ごとに行われる主な行事について話す。同じ行事など母国にあったら話してもらおう。学習者が言いたいことばが見つからない時は、スマホの辞書等を活用したり、支援者とのQ Aを進めることで、新しい表現を学ぶ。

ワークシート（原寸大 p27 参照）



● 活動の流れ・ポイント

1. 絵カードを見ながら日本の四季について話します。学習者の国にも四季があるかを聞きながら進めます。
2. 学習者は答えたあと、同じ質問を次の人にしながら話していきます（チェンドリル形式）。
3. 日本にある、各月の行事について話します。次に母国の行事について話します。思い出などがあれば、話してもらいます。
4. 印象的な事をメモする時間をとります。その後一人ずつサポーターに質問し、新しいことばを探します。
5. 今日勉強したことば、話し方について発表します。学習者間の自然なQ Aにつながります。

● 活動で工夫したこと

- ・日本の四季に関しての絵本などを用意し、スムーズな発話につながるようにしました。
- ・教室活動の冒頭で、ウォーミングアップを兼ねて、季節に関する単語を紹介しました。

● 担当した日本語サポーターから

学習者の国籍が違くと、それぞれのお国の事情に対し知りたい気持ちも生まれてくるので、お互い聞きやすくなります。似た行事・違う行事などについて話せるように質問しました。話を通して、お互いへの理解ができ距離がグーッと縮まったように感じました。余裕があれば、よかったことや悔しかったことなど、思い出などで話を広げていくのもいいでしょう。